

カリキュラム・マップ2024【薬学部・薬科学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、薬科学の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者との力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	薬科学科に関する学びにより、医薬品、食品、化粧品、化成品の有効性・安全性に関する専門知識とそれらを取り扱うための技能、ならびにそれらの研究・開発に携わることで高い思考力・判断力を獲得し、それらを人々の健康な生活に活かす能力を身につけているとともに、将来にわたり薬科学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習 I	必修	1	◎	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習 II	必修	1	◎	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力実践演習	必修	1	◎	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナー(薬科学)A	必修	1	◎	△	○
基本科目	●	フレッシュマンセミナー(薬科学)B	必修	1	◎	△	○
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語A	必修	1	△	◎	
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語B	必修	1	△	◎	
専門科目	●	化学A	必修	1			◎
専門科目	●	化学B	必修	1			◎
専門科目	●	生物学A	必修	1			◎
専門科目	●	生物学B	必修	1			◎
専門科目	●	物理化学	必修	1			◎
専門科目	●	生理学A	必修	1			◎
専門科目	●	生化学A	必修	1			◎
専門科目	●	有機化学A	必修	1			◎
専門科目	●	微生物学	必修	1			◎
専門科目	●	医薬品・食品・化粧品概論	必修	1	◎	○	○
専門科目	●	解剖学	必修	1			◎
専門科目	●	薬学数学演習	必修	1	△		◎
専門科目	●	薬科学実習A(コンピュータ活用を含む)	必修	1	○	○	◎
専門科目	●	薬科学実習B	必修	1	○	○	◎
専門科目	●	基礎有機化学	必修	1			◎
専門科目	●	生化学B	必修	2			◎
専門科目	●	免疫学	必修	2			◎
専門科目	●	有機化学B	必修	2			◎
専門科目	●	基礎薬科学英語	必修	2	△	○	◎
専門科目	●	応用薬科学英語	必修	2	△	○	◎
専門科目	●	化粧品・化粧品学A	必修	2			◎
専門科目	●	機能的食品科学A	必修	2			◎
専門科目	●	天然資源学	必修	2			◎
専門科目	●	薬科学実習C(コンピュータ活用を含む)	必修	2	○	○	◎
専門科目	●	薬科学実習D	必修	2	○	○	◎
専門科目	●	分析化学	必修	2			◎
専門科目	●	機器分析学	必修	2			◎
専門科目	●	基礎栄養学	必修	2			◎
専門科目	●	基礎薬理学	必修	2			◎
専門科目	●	分子生物学	必修	2			◎
専門科目	●	生理学B	必修	2			◎
専門科目	●	栄養生理学	必修	2			◎

カリキュラム・マップ2024【薬学部・薬科学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、薬科学の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者との力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	薬科学科に関する学びにより、医薬品、食品、化粧品、化成品の有効性・安全性に関する専門知識とそれらを取り扱うための技能、ならびにそれらの研究・開発に携わることで高い思考力・判断力を獲得し、それらを人々の健康な生活に活かす能力を身につけているとともに、将来にわたり薬科学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目	●	薬理学A	必修	3			◎
専門科目	●	化粧品・化粧品学B	必修	3			◎
専門科目	●	機能性食品科学B	必修	3			◎
専門科目	●	生物統計学	必修	3	△		◎
専門科目	●	医薬品・食品・化粧品製造論	必修	3	○	○	◎
専門科目	●	薬科学実習E	必修	3	○	○	◎
専門科目	●	薬科学実習F	必修	3	○	○	◎
専門科目	●	薬理学B	必修	3			◎
専門科目	●	病態学	必修	3			◎
専門科目	●	薬物動態学	必修	3			◎
専門科目	●	公衆衛生学	必修	3			◎
専門科目	●	生物薬剤学	必修	3			◎
専門科目	●	製剤学	必修	3			◎
専門科目	●	薬科学卒業研究	必修	4	○	○	◎
専門科目		基礎化学	選択	1	△		○
専門科目		基礎生物学	選択	1	△		○
専門科目		基礎物理学	選択	1	△		○
専門科目		海外薬学英語研修A	選択	1	△	○	
専門科目		海外薬学英語研修B	選択	1	△	○	
専門科目		海外薬学英語研修C	選択	1	△	○	
専門科目		医薬品情報・マネジメント概論A	選択	2	△		○
専門科目		医薬品情報・マネジメント概論B	選択	2	△		○
専門科目		有機化学C	選択	2			◎
専門科目		メイクアップ論	選択	2			○
専門科目		生薬学	選択	2			○
専門科目		企業インターンシップA	選択	2	△	○	○
専門科目		企業インターンシップB	選択	2	△	○	○
専門科目		天然物化学	選択	3			○
専門科目		セルフメディケーション論	選択	3	○		○
専門科目		医薬品開発論	選択	3			○
専門科目		ハーブ論	選択	3			○
専門科目		病原微生物学	選択	3			○
専門科目		薬事・食品衛生関連法規	選択	3			○
専門科目		薬膳・機能性食品科学実習	選択	3	△		○
専門科目		放射化学実習	選択	3			○
専門科目		医薬品・食品・化粧品マーケティング論	選択	3	○		○
専門科目		漢方薬	選択	3			○
専門科目		臨床検査学	選択	3			○
関連科目		物理学A	選択	1	△		

カリキュラム・マップ2024【薬学部・薬科学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、薬科学の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者との力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	薬科学科に関する学びにより、医薬品、食品、化粧品、化成品の有効性・安全性に関する専門知識とそれらを取り扱うための技能、ならびにそれらの研究・開発に携わることで高い思考力・判断力を獲得し、それらを人々の健康な生活に活かす能力を身につけているとともに、将来にわたり薬科学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		物理学B	選択	1	△		
関連科目		地学実験(コンピュータ活用を含む)	選択	1	△		
関連科目		物理学実験(コンピュータ活用を含む)	選択	1	△		
関連科目		ドイツ語 I A	選択	1	△	△	
関連科目		ドイツ語 I B	選択	1	△	△	
関連科目		フランス語 I A	選択	1	△	△	
関連科目		フランス語 I B	選択	1	△	△	
関連科目		中国語 I A	選択	1	△	△	
関連科目		中国語 I B	選択	1	△	△	
関連科目		韓国語 I A	選択	1	△	△	
関連科目		韓国語 I B	選択	1	△	△	
関連科目		倫理とは何か	選択	1	△		
関連科目		地域と風土	選択	1	△		
関連科目		現代社会と法 I (日本国憲法)	選択	1	△		
関連科目		現代社会と法 II (国際法を含む)	選択	1	△		
関連科目		社会学A	選択	1	△		
関連科目		地圏環境	選択	1	△		
関連科目		文化研究 I	選択	1	△		
関連科目		文化研究 II	選択	1	△		
関連科目		人と文化	選択	1	△		
関連科目		世界の中の日本A	選択	1	△		
関連科目		世界の中の日本B	選択	1	△		
関連科目		地域と大学	選択	1	△		
関連科目		グローバル社会と女性	選択	1	△		
関連科目		女性とダイバーシティ(女性の働き方)	選択	1	△		
関連科目		女性とキャリアデザイン(女性と企業)	選択	1	△		
関連科目		近世の日本史 I	選択	1	△		
関連科目		日本の文学 I	選択	1	△		
関連科目		心理学 I	選択	1	△		
関連科目		資格英語 I A	選択	1	△	○	
関連科目		資格英語 I B	選択	1	△	○	
関連科目		English Communication I A	選択	1	△	○	
関連科目		English Communication I B	選択	1	△	○	
関連科目		Oral English I A	選択	1	△	○	
関連科目		Oral English I B	選択	1	△	○	
関連科目		データサイエンス入門	選択	1	△	△	△
関連科目		海外研修 I	選択	1	△	△	
関連科目		海外研修 II	選択	1	△	△	
関連科目		海外研修 III	選択	1	△	△	

カリキュラム・マップ2024【薬学部・薬科学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に付け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、薬科学の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者との力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	薬科学科に関する学びにより、医薬品、食品、化粧品、化成品の有効性・安全性に関する専門知識とそれらを取り扱うための技能、ならびにそれらの研究・開発に携わることで高い思考力・判断力を獲得し、それらを人々の健康な生活に活かす能力を身につけているとともに、将来にわたり薬科学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		海外研修Ⅳ	選択	1	△	△	
関連科目		ハンガリー語A	選択	1	△	△	
関連科目		ハンガリー語B	選択	1	△	△	
関連科目		ポーランド語A	選択	1	△	△	
関連科目		ポーランド語B	選択	1	△	△	
関連科目		スペイン語A	選択	1	△	△	
関連科目		スペイン語B	選択	1	△	△	
関連科目		マレー語A	選択	1	△	△	
関連科目		マレー語B	選択	1	△	△	
関連科目		留学英語A	選択	1	△	○	
関連科目		留学英語B	選択	1	△	○	
関連科目		健康スポーツⅠA	選択	1	△		
関連科目		健康スポーツⅠB	選択	1	△		
関連科目		健康スポーツⅡA	選択	1	△		
関連科目		健康スポーツⅡB	選択	1	△		
関連科目		自校史研究(建学の精神と大学の理念)	選択	1	△		
関連科目		国際グローバル研修	選択	1	△	△	
関連科目		スタートアップ企業論入門	選択	1	△		
関連科目		生涯スポーツ論	選択	1	△		
関連科目		情報科学(演習含む)	選択	2	△		△
関連科目		ドイツ語ⅡA	選択	2	△	△	
関連科目		ドイツ語ⅡB	選択	2	△	△	
関連科目		フランス語ⅡA	選択	2	△	△	
関連科目		フランス語ⅡB	選択	2	△	△	
関連科目		中国語ⅡA	選択	2	△	△	
関連科目		中国語ⅡB	選択	2	△	△	
関連科目		韓国語ⅡA	選択	2	△	△	
関連科目		韓国語ⅡB	選択	2	△	△	
関連科目		応用AIプログラミング	選択	3	△		△
関連科目		社会科学におけるデータサイエンス	選択	3	△		△
関連科目		ゲーム理論とAI	選択	3	△		△
関連科目		定量的政策評価	選択	3	△		△
関連科目		金融データ分析	選択	3	△		△
関連科目		データサイエンスと数理統計	選択	3	△		△
関連科目		機械学習とAI	選択	3	△		△
関連科目		データサイエンス特別講義Ⅰ	選択	3	△		△
関連科目		データサイエンス特別講義Ⅱ	選択	3	△		△
自由科目		教育心理学	選択	1	△	△	
自由科目		教育史	選択	1	△		

カリキュラム・マップ2024【薬学部・薬科学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に付け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、薬科学の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者を尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者との力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	薬科学科に関する学びにより、医薬品、食品、化粧品、化成品の有効性・安全性に関する専門知識とそれらを取り扱うための技能、ならびにそれらの研究・開発に携わることで高い思考力・判断力を獲得し、それらを人々の健康な生活に活かす能力を身につけているとともに、将来にわたり薬科学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
自由科目		教職論	選択	1	△		
自由科目		特別支援教育	選択	1	△		
自由科目		道德教育の理論と指導法	選択	1	△		
自由科目		教育学概論A	選択	1	△		
自由科目		教育方法及びICT指導法	選択	1	△		
自由科目		スチューデント・インターンシップⅠ	選択	2	△	○	
自由科目		スチューデント・インターンシップⅡ	選択	2	△	○	
自由科目		学校と図書館	選択	2	△		
自由科目		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	選択	2	△		
自由科目		ジェンダー・教育・ダイバーシティ	選択	2	△		
自由科目		教育学概論B	選択	2	△		
自由科目		教育課程論(総合的な学習・探究の時間の指導法を含む)	選択	2	△		
自由科目		教育相談(カウンセリングを含む)	選択	3	△	△	
自由科目		介護体験実習(事前及び事後指導を含む)	選択	3	△	○	
自由科目		特別活動論	選択	3	△		
自由科目		理科教育法A	選択	3	△		△
自由科目		理科教育法B	選択	3	△		△
自由科目		理科教育法C	選択	3	△		△
自由科目		理科教育法D	選択	3	△		△
自由科目		教育実習Ⅰ(事前及び事後指導を含む)	選択	4	△	○	
自由科目		教育実習Ⅱ	選択	4	△	○	
自由科目		教職実践演習(中・高)	選択	4	△		